

Touch On Time Recorder



Touch OnTime Recorder とは

Touch OnTime Recorder の特徴

現在の勤怠クラウド導入におけるの障害（PC使用、生体認証がNGの場合など）をすべてクリアにしている。

他社専用端末と比較して、性能、価格との圧倒的に上回っている。
（ハードの費用は一般的な紙を使用するタイムレコーダーと比べても変わらない）



他社勤怠クラウドとの差別化だけでなく、「勤怠管理＝タイムカード」という常識をひっくり返す可能性を秘めた、勤怠における最も強いハードとソフトを合わせて提供することができる。

KING OF TIMEの端末の問題点

パソコン使用における問題

- ・パソコンを置ける環境(油・ほこりなど)じゃない。
- ・朝、パソコンを立ち上げるのが面倒くさい。
- ・パソコンに重要データが入っている。
- ・パソコンをずっと電源ONにしておきたくない。
- ・パソコンを置くスペースがない。
- ・高齢者が多いのでマウスをクリックできない。
- ・パソコンを持ち去られる場所に置きたくない。
- ・ネットにつなげたパソコンを放置したくない。

生体認証端末(静脈・指紋など)で認証できない人がいる。

- ・100人に1~5人くらい生体認証ができない人がいる(個人差があるが、ご高齢の方に多い)
⇒生体認証できない場合の有力な代替手段が存在しない(パスワード打刻のみ)。

そもそも拠点(店舗)にネット回線がない。

- ・店舗にネット回線を引く必要がなかったため、ネット回線がない。
- ・ネット回線はあるが、LAN工事をしないと端末の設置場所に届かない。

上記のような内容から、システム機能に関係なく、商談がNGになるケースが全体の約3割におよぶと聞いております。

専用端末『Touch On Time レコーダー』

PCが置けない・・・
生体認証が使えない人がいる・・・
専用端末は高い・・・

解決します！



壁掛け可能



PC不要※1

有線LAN/Wi-Fi (IEEE 802.11 b/g/n) 対応

3種類の打刻に対応

生体認証 (指紋)

ICカード (FeliCa※2 / FeliCa lite / Mifare)

従業員ID + パスワード

指紋/ICカード/パスワードの登録が
端末自身で可能

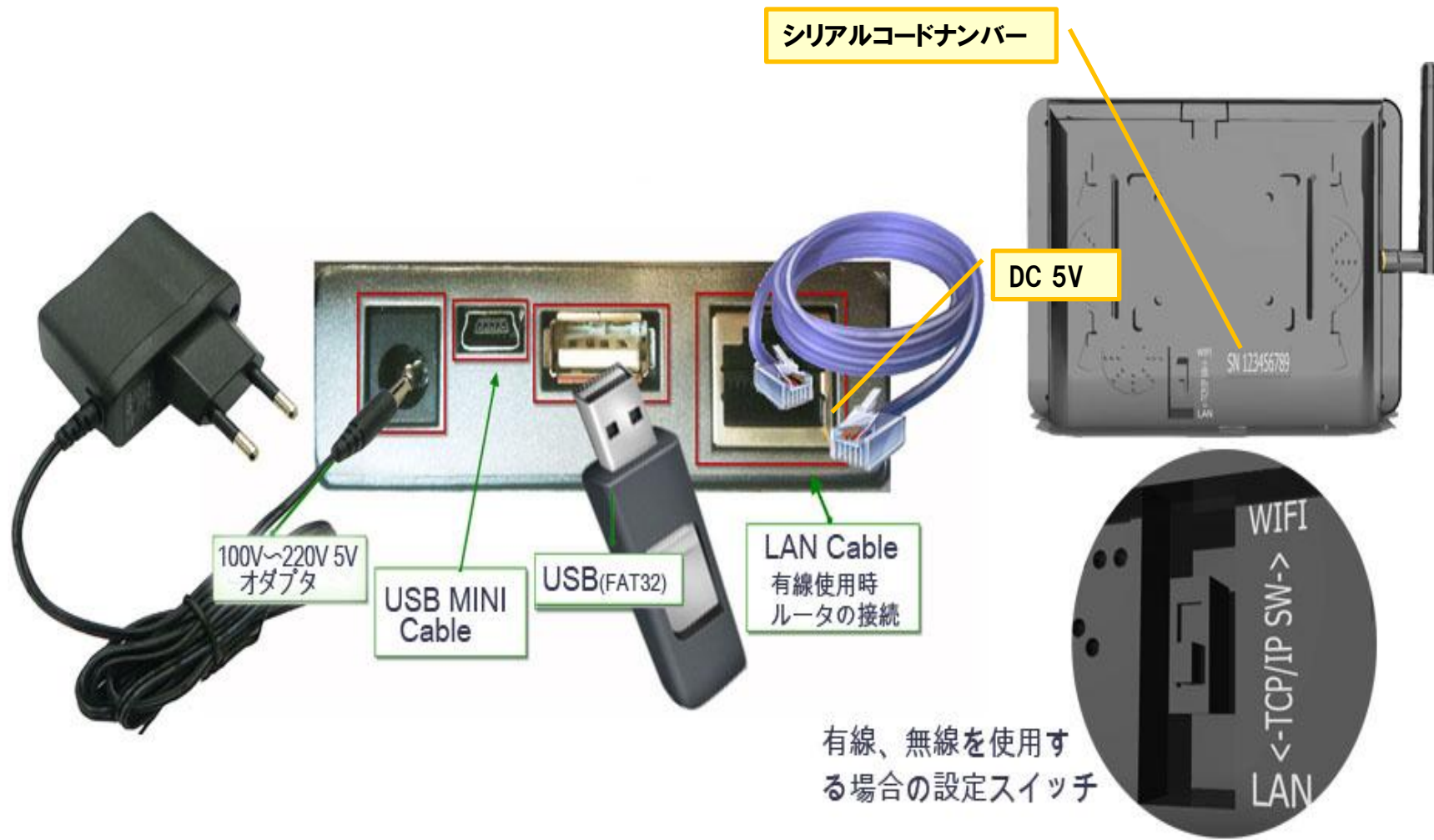
最大3000名の指紋登録
(カード類は無制限)

ネットワーク障害があっても打刻は蓄積
障害復帰すると自動的に打刻送信

※1 本部機能を使うにはPCが必要です

※2 交通系カード/電子マネー/おサイフケータイ等が利用可能

『Touch OnTime レコーダー』部位説明



USBメモリ経由でのデータ取込対応は2013年1月リリース予定

勤怠クラウド端末比較



	Touch On Time レコーダー	TP@C-600IC(アマノ)	ER-IC1000F (MAX)
価格	¥79,800	¥129,000	¥253,000
IC認証	Felica、Mifare	専用ICカード	Felica (Mifare版もあり)
生体認証	指紋	なし	なし
LAN	有線LAN、Wifi	Bluetooth (PCにデータ取込)	有線LAN

勤怠クラウド専用端末としては、他社同型機種を性能と価格の両面で圧倒的に上回っています。